

教員活動状況報告書

提出日：令和 5 年 9 月 19 日
所 属： 獣医学部 獣医学科
氏 名： 山下 匡 職位： 教授
役 職：

I ティーチング・ポートフォリオ

1. 教育の責任（教育活動の範囲）

（教育活動について何をやっているのか：役職担当・主要担当科目リスト（必修，選択）（受講者数）（学部向け，大学院向け）（学理データ活用）

教師として何に責任を負っているかを明確にし，自分が担当している授業科目に関して数行で説明する。（分量の目安：2～5 行（80 字～200 字）（科目表以外）

※分量（字数）はあくまで目安ですので，超えても構いません。内容を優先して下さい。（以下同じ）

授業、実習内とその予復習を通して理解を深めてもらうことを最大の目標とし、国家試験に合格しうる知識を提供することが責務である。疑問点等はなるその時に解決するように促す。また、一定の理解度に達しているかを試験等で確認する

科目名	学科・専攻	必，選，自	配当年次	受講者数
獣医学特論 II	獣医学科	必	5	5
獣医学特論 I	獣医学科	必	4	5
卒業論文	獣医学科	必	6	5
獣医生化学 II	獣医学科	必	2	207
獣医生化学 I	獣医学科	必	1	179
獣医生化学実習	獣医学科	必	2	144

2. 教育の理念（育てたい学生像，あり方，信念）

1. で説明した教育面での責任を基にしながら自分の教育理念に基づいて自分の教育アプローチについてまとめる。（自分の教育アプローチの説明：なぜやっているのか，自らの信念，価値，目指すもの）（分量の目安：8～12 行（320 字～480 字））

建学の精神を尊重し、ものの見方や考え方の基礎を身に付けることに重点を置いた教育を行うことによって、自己の哲学（倫理観・人生観・世界観・真理の探究）を備え持って、世のため人のために尽くすことのできる人材の育成に力を注ぐことを理念とする。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方，方法）

教育の目的と目標（これまでの教育経験においていつも行っていること。重要視していること。自分の教育を特徴づける方法）（分量の目安：15～24行（600字～960字））

自主、自立、及び共同の精神、規範意識、公正な判断力並びに公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養い、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する能力を身につける。

アクティブラーニングについての取組

事前予習、復習の奨励と授業の最後に質問タイムを設定する。また、授業終了後にもなるべく学生からの疑問にはその場で対応する。

ICTの教育への活用

講義1週間前までにpdfファイルの配布、課題の設定と提出。

4. 教育方法の改善の取組（授業改善の活動）（分量の目安：15～24行（600字～960字））

現在の授業実践・教授手法をどのように改善していますか。

（①から⑤まで個別に記載又は①から⑤までまとめて記載ください）

①教育（授業、実習）の創意工夫 (B)

特に要点を強調した講義をする。実習ではビデオの作成とそれを用いた事前学習を行う。

コメントの追加 [A1]: A～Cいずれかを選択してください。

②学生の理解度の把握 (B)

課題を設定し、理解度を把握する。

コメントの追加 [A2]: A～Cいずれかを選択してください。

③学生の自学自習を促すための工夫 (A)

1週間前までの教材配布と予習を課す。

コメントの追加 [A3]: A～Cいずれかを選択してください。

④学生とのコミュニケーション(質問への対応等) (A)

授業の最後に一定時間を質問とその回答時間に当てる。

コメントの追加 [A4]: A～Cいずれかを選択してください。

⑤双方向授業への工夫 (A)

授業の最後に一定時間を質問とその回答時間に当てる。

コメントの追加 [A5]: A～Cいずれかを選択してください。

※A（十分実施している） B（実施しているが十分でない） C（うまく取り組めていない）

コメントの追加 [A6]: 上記 A～C の評価基準です。

⑥国家試験対策としてどのような取組をしましたか。(V 学科, M 学科の教員の方のみ記載してください。)

国家試験に出題された項目を洗い出し、その都度授業の中で指摘し、注意を促す。

5. 学生授業評価 (分量の目安: 4~7 行 (160 字~280 字))

①授業評価の結果をどのように授業に反映させましたか。

指摘事項を次年度の講義に生かした。

② ①の結果はどうでしたか。

指摘が少なくなった。

③ ②を踏まえて次年度はどのように取組みますか。

現状維持する。

6. 学生の学修成果 (分量の目安: 4~7 行 (160 字~280 字))

①学生の成績向上に資する取組を何か考えていますか。

(参考となる取組については、学内で共有させていただく予定です。)

授業時間中に重要な箇所とそうでない箇所を明確に提示する。

②教育活動によって得られた学生の成果及び学生・第三者からの評価

7. 指導力向上のための取組 (FD 研究会参加状況) (分量の目安: 1~2 行 (40 字~80 字))

ウェブ上で視聴し、参考にした。

8. 今後の目標 (理念の実現に向かう今後のマイルストーン)

教育活動に関する今後の目標を記載してください。短期的な目標と長期的な目標を分けて記載してもかまいません。(分量の目安: 3~6 行 (120 字~240 字))

短期的目標: 初心を忘れずに、学び続ける人材を育成する。

長期的目標: 本当の教養(知識の多さだけでなく、物事を俯瞰して観る力、深く考える力、物事を様々な面から捉えられる豊かな心、他者の立場を理解して行動する思いやりの心を備えた教養)を身に付けた国際人の育成。

9. 添付資料 (根拠資料) (※) 資料名のみ

※資料については非公開扱いのものもありますので、資料名のみを記載してください。

- FD 研修事後課題（ピアレビューによるブラッシュアップ）の実 有 無 該当を○で囲む
- 下線部以外は今回新規追加した事項を示す。

参考

※ ティーチング・ポートフォリオにおける自己記述を裏付けるエビデンス例

（「実践ティーチング・ポートフォリオ スタータブック」（大阪府立大学高専ティーチング・ポートフォリオ研究会 編）から引用）

（自ら作成するもの）

1. 授業に関するもの
シラバス、小テスト、宿題、レポート課題、試験問題、教材（配布資料、パワーポイント資料など）
2. 教育改善に関するもの
（教育に直接貢献する研究、FD プログラムなどへの参加記録、教育の工夫を示すもの（複数年のシラバス等）、教育活動関連の補助金の獲得

（他者から提供されるもの）

1. 学生から
授業評価データ、授業に関するコメント（授業評価の自由記述やメールのやりとり等）、卒業生から授業や教育についてのコメント
2. 同僚から
授業参観の講評、作成教材についての意見、同僚のサポート実績
3. 大学／学会等から
教育に関する表彰、教育手法等に関する講演の記録及び招聘の要請書類、カリキュラムやコースの設計などについての評価

（教育/学習の成果）

授業科目受講前と受講後の試験成績の変化、学生の小論文・報告書、学生のレポートの「優秀」「平均的」「平均以下」の例、特に優秀な学生についての記録、指導学生の学会発表などの成果、学生の進路選択への影響についての事実、学生のレポートの改善の軌跡